

心のスイーツ



丹波市立柏原中学校
生活指導通信
No. 三十八

令和五年三月十三日
(文責 足立 進)

素晴らしい「3年生を送る会」でした

三月三日(金)の午後に「3年生を送る会」が開かれました。

「お世話になった3年生に、何とか楽しんでもらえる一時を贈ろう」と、1年生の生徒会本部役員が中心となり、学年末テスト前の多くの時間をかけて準備をしたものでした。

3年生もノリノリで参加してくれて、大変素晴らしいものになったと思っております。

「3年生を送る会」で感じたことを書いておきます。

①「盛り上がる力はスゴイカ」

例年、趣向を凝らした出し物があるのですが、それでもメインは「思い出のスライド」であることが多かったように思います。

今年のスライドも大変よくできており、転動された先生方からのビデオメッセージも充実していて、大変良かったのですが、他のプログラムが素晴らしくて驚きました。

「思い出クイズ」でも「柏中生の主張」でも、司会者や、次々と出てくる発表者や出演者が、しつかりとやりきり、それを周囲で視聴する人が良い反応を示すことで、大変盛り上がりのあるものになっていました。冷めたりしらけたりすることは誰にでもできることですが、柏中生の「絶対にしらない冷めない、必ず盛り上がる」とができる力には、あらためて感心しました。

②「居心地が良い 誰もが安心してできる環境」

1年生代表からの感謝の言葉の中に、「居心地がよく安心して暮らせる柏原中をつくってくださった3年生、ありがとうございました」というところがありました。

上級生として、良き手本を示すことは大事で

すが、「良き手本」の中でも一番大切なものが、「誰もが安心して過ごすことができる環境をつくって見せる」ということだと思います。

1・2年生の皆さんには、新年度を迎えるにあたり、あらためて意識をしておいてほしいことです。



③「新しいリーダーの出現」の大切さ

3年生の生徒会長である足立航洋くんの挨拶の中に、こんな言葉がありました。

・・・体育祭や文化祭では、新たなリーダーがたくさん出て来てくれて本当に嬉しかったことを覚えていきます。・・・

リーダーとは責任を持って行動する人のことです。生徒会長をしていて、何から何まで、責任を持たなければならぬことに負担を感じていた頃に、登場してくれた多くのリーダーの存在に、航洋くんはホッとしたのだと思います。この三週間ほどの間に、学年末テスト勉強と両立させながら「3年生を送る会」を準備してきた新生徒会のメンバーたちは、既に航洋くんの言葉の意味を、何となく実感しているのではないかと思います。

④「嬉しいことがありました」

「送る会の会場片付けは新生徒会本部役員が残つてやる」ということになっていたのですが、2年生の多くの生徒が残つて一緒に片付けていました。また、会場の片付けを終えて教室に戻ると、先に帰っていた生徒たちが掃除をほぼ済ませていました。

そんな決められた役割以外の部分に責任を持つてくれる生徒(リーダー)の出現の兆しを大変嬉しく思いました。

⑤「まず気をつかうべきは同じ班の班員」

④に書いたように、自分の役割以外のことにも気をつかって助けることができる生徒がたくさんいる反面、自分の役割を怠けて同じ班の生徒に迷惑をかけ、嫌がられている生徒や、「来年度は同じ班・同じクラスになりたくない」と思われている生徒がいます。

先生がいないと掃除を怠ける生徒がいるようです。その生徒は完全に間違っています。先生たち大人は、厳しく注意はしても、最終的にはどの生徒も同じように大事にしなければならぬ立場です。同じ班の生徒は、怠ける生徒のために、いつも余分にたくさんの仕事をしなければなりません。そんな生徒が、怠ける生徒を許せるでしょうか。

同じ班の生徒にこそ、一番気をつかうべきであるということを、今一度認識し直してほしいと思います。

卒業式をむかえるにあたって

一・カメラ・ケータイ・スマホの扱い

卒業式も学校の教育活動の一環ですので、普段と同じように、カメラもスマホも、本来ならば持ち込みは禁止なのですが、3年生については、この一年間、校内において、何一つ問題を起こすことなく、しつかりとケジメある生活を送ってきたという実績を評価し、次の①②③をきちんと守ることを条件に、カメラやスマホを持つてくることを許可しています。

① 使用してよいのは、卒業式後の最後のHRを終え、花道を3年生の全員が通過し終えた後からとします。

② カメラやスマホは、花道を通過してしまいうまでは、できる限り保護者に預かってもらっておくようにしましょう。

③ 毎回お願いしているところですが、撮った写真や、保護者の方が撮られた写真や動画の取り扱いについては、「個人情報保護」の観点

から許可なくネット等に載せることがないようお願いします。

二・保護者の方々はマスク着用で

「式場内でマスクをするかしないか」につきましては、日々報道されているところです。本校の卒業式につきましては、生徒の意向も加味しながら決めて参ります。

入学当初から、常にマスクを着用してきておりますので、晴れの場ではありませんが、突然「全員外して式に臨め！」はできない状況です。

ただ、保護者の方々は、申し訳ないのですが、原則マスク着用をお願いします。

三・帰られる際はなるべく北門から

卒業式当日、保護者の皆様が学校を出られる時間帯は特に、正門前の混雑が予想されます。自動車で帰られる場合は、なるべく北門から出ていただきますようお願いいたします。

ヘルメット安全タスキは当たり前前に

柏原中学校の生徒は「ノーヘルやノータスキ」で注意をしなければならぬことが、ほとんどありません。しかし、今年度はヘルメットをかぶらずに登下校をしていた事案が二件ありました。(例年はほぼゼロです)

「ヘルメットや安全タスキは、自分の命を守るもの」という原則も大事ですが、「登下校の決まりや自転車通学の決まりを守ることで、自分の権利を守る」という意味でも、大事なことです。また、柏原は「地域の見守り」もしっかりと行っているのです。すぐにノーヘル等があれば「こんなにいい加減な生徒がいますよー」と連絡をさせていただきます。だから、意識の高い生徒はノーヘル・ノータスキなんか、絶対にしないのです。ノーヘル・ノータスキでいると、身に危険が及ぶだけでなく、「あの子は考える力がない子なのか」と思われてしまいます。「改めることができる力」を持った人であってください。